

第8回日中韓大学院生フォーラムのサポート報告書

生命環境エリア支援室 中国連携サポートチーム

築 美浦子、高橋 未来、大坪 龍介

私たち中国連携サポートチームは、生命環境系における中国連携事業を支援しています。支援活動の一つとして、毎年開催される日中韓大学院生フォーラムに携わっています。

第8回目となる今回、筑波大学はホスト校として日本・中国・韓国などの大学から学生や教員を迎え入れました。参加者総数は173名（中国59名、韓国42名、日本68名、その他4名）でした。

1 目的

本フォーラムは、学生が主体となって研究発表や大学間交流等を行う国際イベントです。今回、ホスト校として参加者を迎えるため、本学学生には高い負荷が掛かります。私たちチームは、活動目的を下記の2つに設定し、事務処理を中心に細かな点をサポートすることを意識しました。

- ・学生の負荷を軽減してプレゼンテーションと学生交流に少しでも注力してもらうこと
- ・準備を万全にして参加者を滞りなく迎え入れること

2 活動と所感

今回、チームメンバーで下記の役割を設定してサポートを行いました。

2.1 ハンドブック・要旨集印刷手配、写真撮影サポート（築 美浦子）

学生委員の方々が作成するハンドブック・要旨集原稿の確認、及び印刷に協力いただいた総合事務センターとの連絡調整等を担当しました。参加者全員の要旨の取りまとめ、各種タイムスケジュールや会場の策定等、学生委員の方の作業量が多くなる場所なので、委員の方と細かく連絡を取りながら、なるべく負荷を減らせるよう意識しました。

写真撮影は学生・ウェブ担当スタッフ・サポートチームで協力して行いました。プレゼンテーションをする皆さんの真剣な姿や、様々な国の学生さんが互いに笑いあい、議論する、活気あふれるフォーラムの雰囲気がぜひ伝わればと思います。

2.2 会計関連、ホテル・バスの手配（高橋 未来）

予算の管理、支払処理、ホテルと借り上げバスの手配を主に担当しました。今回、限られた予算内に収めるため、サポートメンバーで打合せを重ね、価格や信頼の点で適切な業者を探したり、収支簿を逐一確認したりしながら、予算の使い道を決定

していきました。

また、これまで経験の無かった会計手続きを行うため、大学規則や会計マニュアルを確認しつつ、使い方に問題はないか上司等にも相談しながら支払処理を進めました。

2.3 会場、物品、食事の準備（大坪 龍介）

研究発表や会議等の会場や物品を、生命環境エリア支援室の教務・会計の協力を得ながら手配しました。また、参加者に提供する食事やウェルカムパーティー・フェアウェルパーティーの準備にあたり、学内食堂との調整を行いました。参加者に混乱なく食事を提供し、パーティーを楽しんでもらえるよう、学生委員や食堂スタッフと相談しながら準備を進めました。パーティーが盛り上がり、学生同士で交流を深める姿を見ることができて本当に良かったです。

3 おわりに

今年は、筑波大学がホスト校となる年で、大勢の参加者が筑波大学に集まりました。

企画から実施に至るまで、やるべきことが山積していましたが、参加者を滞りなく迎え入れ、無事にフォーラムを開催することができました。これは、学生委員の方々をはじめ、参加した学生の皆様の努力や、関係者のご協力やアドバイスの賜物です。また、プレゼンテーションでは英語での熱のこもった研究発表と質疑応答を行う学生の姿を見ることができました。

フォーラムの企画・実施のサポートという貴重な経験を、サポートチームのメンバーそれぞれが、今後の糧として仕事に活かしていきます。このような成長の機会を与えて頂き、ありがとうございました。今後も、この日中韓大学院生フォーラムが継続していくよう、大学職員としてサポートしていきたいと思えます。

最後になりますが、今回指揮を執った学生委員の方々や、研究発表をした学生の皆様のこれからのご活躍をお祈り申し上げます。

以上



学生によるプレゼンテーション



学生交流



2015 年度中国連携サポートチーム